



子育てと教育・福祉の充実をめざします

市会報告

神戸市議員
(東灘区選出)

やのこうじ

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
TEL/FAX 078-841-2255
✉ yano.koji2018@gmail.com

編集・発行：こうべ未来 市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和5年 第1回定例市会【初議会】開催 日程（5月12日～26日）

神戸市議員2期目の初議会を終えました。早速に議場での一般質問の機会をいただき、東灘区民のみなさまからの様々な声の中から選んだ内容を、市長に代弁しました。

市民のみなさまの安全・安心な暮らしを守るために、よりスピーディーに市政に反映できるように、引き続き誠実に努めてまいります。今後とも各種ご意見、ご提言を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

一般質問（5月26日）

議場で一般質問※を務め、市長、副市長から見解を伺いました。

※一般質問：市政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて、説明を求め、疑問をたずねること。



質疑の様子



1. 民間バスにおける敬老・福祉パスの適用について

質問 東灘区では、阪神バスが、敬老・福祉パスの適用対象であるが、住吉台の「くるくるバス」や森北町の「どんぐりバス」など、同じ区域にありながら適用対象外の民間バスが存在している。高齢者等の外出支援の観点からも、地域の足として不可欠な全ての民間バスやデマンド型タクシー※に対しても適用すべきではないか。

※デマンド型タクシー…路線バスと同様に運行ルートや時刻表等を定めるが、利用者の予約があった場合のみ運行する。利用者同士が乗り合うことで、少ない運行回数で多くの利用者を運ぶことができる。

副市長 地域コミュニティ交通については、導入に向けた取り組みを進めている。それ以外の路線バスについては、決済基盤の整備など費用負担に関する課題もあるため、事業者の意見も伺いながら、あり方を丁寧に協議する必要がある。いずれにしても実現できるよう、引き続き取り組んでまいります。

要望 どんぐりバスというネーミングはとてもかわいいが、かなり勾配がきついところを走っており、東灘区も山手に行くと、高齢化が着実に進んでいる。市民にはなくてはならない地域コミュニティ交通の「敬老・福祉パスの適用」を、なんとか実現していただきたい。



再質問 公共交通ネットワークの将来像として、自動車から公共交通への利用転換を進め、市域全体の公共交通ネットワークの維持・充実を図ることを目標に掲げる観点では、地域の足として機能しながらも、敬老・福祉パスの適用対象外となっている民間バスやデマンド型タクシーの位置づけをどのように捉えているのか。

副市長 敬老・福祉パスの適用対象外の交通手段にも「適用を拡大」していくことは、高齢者等の外出支援という制度の目的に合致するだけでなく、公共交通ネットワーク全体の利用促進にもつながると認識している。

現在、制度の対象外となっている民間バスや地域コミュニティ交通への適用拡大に向けて、関係者と協議を進めていきたい。

要望 住吉台のご高齢の方から、物価高で年金も増えず、外出を控えていると聞いた。市バスなら半額で乗れ、買い物にも行ける。公共交通はライフライン（水道や電気など）と同じである。引き続き検討を進めていただきたい。

2. 今後の学童保育について

質問 学童保育は、子育てと仕事の両立支援や放課後における児童の健全育成として、非常に重要な役割を果たしているが、小学校からの移動に伴う子どもたちの負担や防犯上の懸念、あそび場の確保など、対応すべき課題が多いと考えている。

「こどもっとKOBE」を掲げる本市として、学童保育の今後の展開について伺いたい。



こどもっとKOBE



副市長 学童保育のニーズは、引き続き増加している。学童保育の実施場所の確保を最優先に取り組み、多様化する保護者ニーズへの対応等も含めて、学童保育の質の向上に努めていきたい。



要望 先日、ビルの中にある学童コーナーの子どもさんから、「お庭が欲しいよ」と要望を受けた。保護者からは、夏休み中に建物の中でずっと過ごすことへの懸念の声も届いた。引き続き、学童保育のサービスや施設、備品の質の向上をお願いしたい。

また、市立幼稚園の3年保育のニーズも伺っている。多様な市民のニーズに応えていけるようにしていただきたい。

3. 六甲アイランドの活性化について

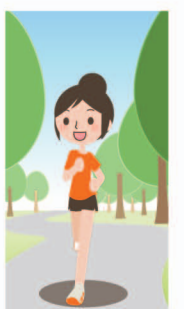
(1) シティヒルによる魅力向上

質問 先の11月議会で、平日の島外から需要喚起を目的として、より走りたくなるよう、全体的なリニューアル等について問うたところ、簡易照明の試験的設置や、地元と相談のうえで施設更新・整備を順次図るとの答弁があった。

一方、島内にある宿泊施設のホームページでは、ランニングと温泉、食をあわせて紹介するなど、島外の方にとっても、魅力的な公園となるポテンシャルを秘めている。

シティヒルの魅力向上に向けて、民間の活力も導入しつつ、情報発信やランニングステーションの整備など、ソフト・ハード両面で取り組むべきでは。

市長 シティヒルの簡易照明や水飲み場の整備対応の他に、ランニングステーションなども、民間活力の導入可能性も探りながら、ハード・ソフト両面からの対応をしっかりと行っていきたい。



要望 シティヒルは風光明媚で、ランナーにとって走りやすい、楽しいコースである。島外の方がシャワーで汗を流した後、最寄り地元の美味しいお酒を飲んだり、神戸マラソンへの出場につながればと思う。



また、関西万博、神戸空港の国際化に向けて、マリパークが海の玄関口になることも魅力的だと思う。六甲アイランドの異国情緒の特性を生かし何が出来るか、引き続き取組を願いたい。

(2) 住吉駅における図書返却ポストの設置

質問 島民にとっては、六甲ライナーの経済的・心理的負担が大きいことに加え、図書館という身近な行政サービスを容易に享受することも困難となっている。

少しでも容易に図書館サービスを楽しむよう、例えば通勤・通学や買い物などで島民の利用の多いJR・六甲ライナー住吉駅の共有通路内に、返却ポストを設置していただけないか。

副市長 六甲アイランド住民への図書館サービスは、かねてより様々なご要望をいただいている。六甲アイランドの地理的な特質性もあることから、予約図書コーナーにご協力いただける団体の状況確認等を行うなど、改めて図書館サービスの向上に向けて何が出来るか、引き続き検討したい。

要望 住吉駅から東灘図書館まで、さほど離れていないとのことだが、よちよち歩きのお子さんには、かなりの距離ではないか。また、雨の日の移動も大変なので、前向きに検討いただきたい。



JR 灘駅構内の図書返却ポスト

再質問 昨年ファッションプラザ内に設置された「ふわふわドーム」により、多くの親子連れの姿が見られるようになり、AOIA跡地も令和6年度の全面開業に向けて動き出すなど、まちの魅力向上への取り組みを大変評価している。



令和3年2月に「六甲アイランドまちの将来の姿」の策定後に移り住んだ若年層や、新たな取り組みによる活性化等も踏まえつつ、様々な島民の声を丁寧に聞きながら、さらなる島内の活性化を進めるべきではないか。

副市長 六甲アイランドCITY自治会やまちづくり協議会など、毎月の会合に毎回、職員も出席させていただき、様々な観点で意見交換をしている。今後も、これまで培ってきた地域とのつながりを大切にしながら、若年層を含めた多様な世代のご意見を広くお聞きして、さらなる島内の活性化に取り組みたい。

要望 島民の方は、ファッションプラザへのテナントの入居を、切実に望んでおられる。引き続きまちの活性化について頑張ってください。

また、最上階には映画館の跡地もあるので、そちらも効果的に活用して欲しい。

4. 地域活動にかかる行政手続きについて

要望 人口減少・高齢化時代に対応するため、協働と参画のまちづくりの重要性がますます高まっている。地域活動の障壁の1つとなっている「行政手続きの簡易化」を、引き続きスピード感を持って取り組んでいただきたい。



建設防災委員会 (6月8日)



建設局関係

質問 「歩道橋がなく交通量の多い幹線道路に接している学校園」への早めの安全対策をお願いできないか。

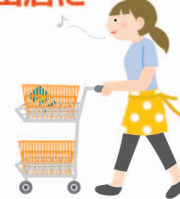
局長 やの委員ご指摘の危険個所には、ガードレールやガードパイプを設置したい。設置が難しい場合には、路側帯にグリーンの舗装をして、ドライバーに注意喚起をするなど、いろんな対策を考えていきたい。

要望 1 小さな子どもが急に飛び出して事故に巻き込まれないように、学校や警察とも連携しながら対策をお願いしたい。

要望 2 先日、JR摂津本山駅構内のエレベーター前で、ベビーカーの渋滞を目にした。三宮の再整備が進む中、ベビーカーや車椅子など、エスカレーターでの移動ができない方の増加が今後予想される。エレベーターが複数なければ、また何年後かに増強工事が必要となり、手間やコストもかかってくる。未来の街開発には、エレベーターを増やしていただきたい。

安心・安全、より便利な東灘に

1. 六甲アイランドファッションプラザ
ついに「スーパーマーケット」が
来春出店に



ファッションプラザ



本会議での代表質疑から (令和4年2月25日)

質問 ファッションプラザは、依然として空き店舗が多く、かつて映画館や様々な商業施設等が入居していた頃の賑わいが失われたままである。ファッションプラザを六甲アイランドの拠点施設として、ビルの民間所有者とも連携を図りながら、賑わい創出に取り組むべきではないか。

副市長 神戸市としても大変気になる施設であり、定期的に事業者との情報共有、意見交換を行っている。できるだけ早くファッションプラザを再生し、六甲アイランドのにぎわいの創出を図りたい。

要望 コロナ禍で経営が厳しい中ではあるが、島民から強く声があがっている、六甲ライナーの運賃の見直しについても検討をお願いしたい。

2. 阪神御影駅構内南側の舗装損傷個所の修繕



(修繕前)



(修繕後)

3. 阪神石屋川駅改札口前の駐輪場完成 (令和5年6月16日から供用開始)



(供用前)



(供用後)

よこはた和幸事務所：〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 4-1-12-8 階 TEL:078-335-0661 FAX:078-335-0662

政党党派を超えた政策集団

「こうべ未来市議員団」を設立しました！

4年の任期のスタートしました。皆様からお預かりした税金の使い方など、引き続き厳しい目でチェックして参ります。また、新しく政党党派を超えた政策集団「こうべ未来市議員団」を設立に至りました。政党の垣根を越えて、幅ひろい政策で、わくわくする神戸のために尽力したいと考えています。

政策集団として、役所の政策を待つのでなく、政治家側から条例化を含めてどんどん政策提言し、「報告すること」「建設的提案をすること」を主眼に活動して参ります。



5月19日総務財政委員会

団長 よこはた 和幸 (中央区)

幹事長 伊藤 めぐみ (北区)

政調会長 かじ 幸夫 (西区)

副政調会長 諫山 大介 (灘区)

川内 清尚 (垂水区)

やの こうじ (東灘区)

木戸 貞一 (須磨区)

よこはた和幸 所属委員会等

総務財政委員会、大都市税財政委員会

阪神水道企業団議会、都市計画審議会

物価高騰を受け、市民への支援を含む補正予算を計上！

エネルギー・食料品等の物価高騰が止まりません。神戸市としても影響を大きく受ける市民の支援を含む補正予算を計上しました。一般会計で総額 144 億 1,400 万円となります。収束の予測が立たない物価高騰です。これで終わりではなく本当に困った世帯支援は必要と考えます。

**補正予算の
ご報告**

暮らし支援臨時特別給付

住民非課税世帯に対して1世帯あたり
3万円を給付します。 **78億円**

子育て世帯生活支援特別給付金

低所得の子育て世帯に対して、
児童1人あたり5万円の給付します。
19億円7300万円

介護・障がい福祉サービス施設への運営支援

介護・障がい福祉サービス施設の対して
光熱費・食材費の高騰対策

11億円9000万円

児童福祉施設への運営支援

児童福祉施設に対する
光熱費・食材費の高騰対策

5億円3500万円

こども食堂への運営支援

こども食堂に対する
光熱費・食材費支援 **2300万円**

文化施設利用サポート

コロナ禍で活動制限を受けた
アーティスト支援 **5400万円**

コロナワクチン接種体制について

高齢者を対象とする
春夏接種に必要な体制を確保

26億7800万円

その他新たな人材確保戦略の取り組み

東京圏における転職希望者に対する
プロモーション活動等の広報強化

3000万円

令和6年度国家予算に対して **提案** × **要望**

神戸市は、政令都市で独自で市政運営をしています。しかし、内容によっては国や県にももの申すことや協調が必要ながあることがあります。そこで国に対して様々な提案や要望をしています。知っていただきたい施策を抜粋しご報告します。

1 神戸空港の国際化について

発着枠を年間3万回から6万回に拡大。CIQ(税関、出入国管理、検疫)の確立や、ターミナル整備への財政支援について



2 神戸港について

諸外国同様に岸壁1キロ以上を一体的に使用できる高規格コンテナターミナル整備の実現、老朽化した上屋、倉庫が集積するエリア整備



3 神戸2024世界パラ陸上大会について

国内初となる大会です。スポーツ振興くじ助成など開催支援、約100カ国からの来訪者に対する迅速なビザ発給などの支援。



4 東京一極集中是正について

東京圏から本社機能移転などに対する促進、地方拠点強化税制の継続など、東京一極集中を是正します。



check

まだまだ国の権限が多く、地方への権限委譲は早期にすべきです。地方自治がもっと裁量権を持たすべく国へも声を挙げてまいります。

兵庫県民支援策

はばたん Pay+ (プラス) 実施予定!

募集期間は
令和5年8月予定



兵庫県マスコットはばたん

物価高等の影響に直面する県民生活を支援するため、ひょうご家計応援キャンペーン「はばたん Pay+ (プラス)」を実施することが発表されました。「はばたん Pay」は、昨年にも発行(ひょうごで食べようキャンペーン~はばたん Pay)されましたが、前回はいわゆる GoToEat (イート) のようなプレミアム付き食事券でした。今回の「はばたん Pay+ (プラス)」では、食事だけにとどまらず、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、書店、家電量販店、飲食店、直売所など幅広く利用できる予定です。

プレミアム付デジタル券の内容

前回同様スマホアプリを使ったデジタル券で発行され、一般枠と子育て応援枠の2つの枠が用意されます。一般枠はすべての県民が対象で5,000円で6,250円分(プレミアム率25%)利用できるデジタル券となり、1人4口まで購入することができます。

加えて、18歳以下の子供がいる世帯には、5,000円で7,500円分(プレミアム率50%)利用できるデジタル券(1世帯2口まで)も発行されます。

一般枠

対象者: すべての県民(子育て世帯を含む)
販売単位: 一口6,250円分を5,000円で販売
プレミアム率: 25%
申込上限: 1人あたり4口

子育て応援枠

対象者: 18歳以下の子供がいる全世帯
販売単位: 一口7,500円分を5,000円で販売
プレミアム率: 50%
申込上限: 1世帯あたり2口

きど 神戸市議員 木戸 活動報告 さだかず 2023.9



1974年生まれ

- 神戸大学卒業、京都工芸繊維大学大学院修了、淡路景観園芸学校修了
- 京都で植木職人として修行後、設計コンサル勤務。
国営明石海峡公園の基本設計や自治体の景観形成条例策定等に携わる。
- 兵庫県議会議員1期（2019～2023）
- 2023年4月より神戸市議員（神戸市須磨区）

児童虐待をなくす ために、 わたしたちが出来ること。

変形した鉄パイプ・食事ができないほど衰弱

2023年6月22日、神戸市西区の草むらで穂坂修くん(6)の遺体がスーツケースに入った状態で見つかった事件は言葉を失いました。

修くんの死因は外傷性ショックで、同居する親族から日常的に虐待を受け、鉄パイプで殴られた背中の筋肉は内部の組織が破壊されていました。

次から次に繰り返される児童虐待事件。

虐待通報件数は年々増え続けています。 どうしたら虐待をなくすことが出来るのか。悔しい気持ちを抱えながら、神戸市の児童相談所（神戸市こども家庭センター）を調査してきました。



今回の事件を受け、会派有志で聞き取り調査を行いました。
（神戸市こども家庭センター、2023年8月7日）

48時間以内安否確認ルール守れず

現在、虐待が疑われる場合、原則48時間以内に目視による安否確認をすることが全国の児童相談所（児相）のルールとして定められています。

しかし、修くんの事件では、児相が修くんに痣があり虐待疑いがあるとの通報を受けながら、**修くんに出会えたのは7日後**でした。

さらに、事件前の6月1日には、家族から修くんの一時保護は不要との返答がありそのまま引き

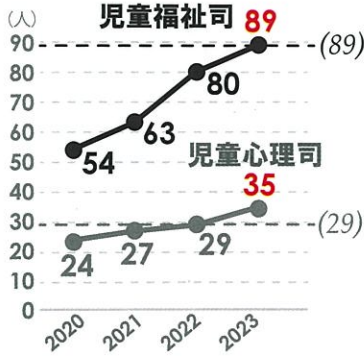
下がっていました。

48時間ルールは、京都府で3歳の男の子が食事を与えられずに餓死した2006年の事件で、児相に通報があったのに虐待死を防げなかったことが発端となり全国的に導入されたルールです。

今回の調査では、なぜルールを守れなかったのか、守っていれば命は救えたのではないかとの思いも児相にぶつけてきました。

制度や予算をつけるだけでは改善しない

これまで神戸市は、なんとか虐待を減らしたいとの思いで、児童福祉司・児童心理司ともに大幅増員し、全国の政令市の中でも充足率は上位に位置するまでになっています。



※カッコ内数値は国の定める配置基準

児童福祉司・児童心理司の配置基準充足状況

【全国政令市比較】

◎ 神戸市・仙台市・千葉市・相模原市・浜松市・新潟市・京都市・岡山市・広島市・北九州市

△ さいたま市・静岡市・福岡市・堺市・熊本市

× 札幌市・横浜市・川崎市・名古屋市・大阪市

◎…どちらも充足している

△…児童福祉司のみ充足

×…どちらも充足していない

専門職員の配置状況 【神戸市子ども家庭センター】

また、今回の西区の事件を受け、兵庫県では児童虐待を疑わせる相談について、全件の内容を県警が共有する方針を明らかにしました。

そして国では、令和元年に児童虐待防止法に親の子供への体罰禁止・児童相談所の体制強化を盛り込む内容に改正するなど、それぞれに体制・制度を強化していますが、それでも児童虐待は増え続けています。

調査では、児相から「**48時間ルールについては、職員をいくらでも増員できるわけでもなく全件数でルールを厳守するのは不可能に近い**」との声もありました。

そんな状況の中、虐待通告が急増する現状では**画一的に48時間ルールの厳守を求めるのは実効性のある対応とはいえなくなっている**との識者の声もあります。

では、どうすべきなのか。

こども家庭庁参与の辻由起子さん（社会福祉士・保育士）は「制度強化の取組みだけでは虐待を減らすことはできない。**虐待の根本原因にアクションをかけていないので現場は改善するどころか悪化している**」と悲痛な声をあげておられます。

「生きる(命・生・性)教育」の必要性

虐待を受けた子どもたちの多くは、その体験がトラウマとなり成長過程に様々な影響が出ることが分かっています。

また、児童虐待は、親から虐待を受けた子が成長すると今度は自らが子どもに虐待をしてしまう「虐待の世代間連鎖」も課題となっています（既往の研究では虐待が連鎖する割合は30%程度といわれています）。

こうした児童虐待の問題に真正面から取り組んでおられるお一人に、山梨県立大学の西澤哲教授（人間福祉学部）がいらっしゃいます。

教授らは、**虐待を受けた子どもの50~70%に愛着の問題が認められる**として、こどもたちへ「命・生・性」教育を実施する必要性を実践を通じて提唱されています。大阪市生野区の生野南小学校で実施されている「生きる教育」では、**子どもたちが落ち着きを取り戻し学力も向上している**ことが報告されています。

こうした事実を見ると、やはり虐待の根本原因にアクションする取組みが必要なのだと改めて感じます。

また、虐待をしてしまった親への支援も必要です。**西区の事件も親は過去に虐待を受けていた**と言われており、世代間連鎖を断ち切る支援も必要です。

私は、県議時代の2019年12月の県議会で、「生きる教育」の展開を知事・教育長に訴えましたが十分な回答は得られませんでした。

今一度、改めてこれらの問題にしっかりと取り組んでいこうと決意を新たにしています。

心の中の信号機



「生きる教育」の授業風景

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！

神戸市会議員 木戸さだかず

〒654-0142
須磨区友が丘1丁目109
電話：070 (7645) 4168
メール：s-kido@jcom.zaq.ne.jp

親子のための相談LINEもあります(匿名OK!)

虐待かも... いちはやく
児童相談所
虐待対応ダイヤル **189**

子育てに悩んだら

児童相談所
相談専用ダイヤル

いちはやく おなやみを
0120-189-783



いとう 神戸市会議員

伊藤めぐみ

編集・発行

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161



“3期目”議会活動スタート!

4月に統一地方自治体選挙が行われ、今年から阪神淡路大震災による任期のズレが是正され、4月30日から任期が始まりました。

引き続き、市民のみなさまが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。

新会派『こうべ未来市会議員団』 7人でスタート!

団 長 よこはた和幸(中央区5期)

幹 事 長 伊藤めぐみ(北区3期)

政 調 会 長 かじ 幸 夫(西区2期)

副政調会長 諫 山 大 介(灘区3期)

川内清尚(垂水区6期)、やのこうじ(東灘区2期)、

木戸さだかず(須磨区1期)

神戸の未来に向けた
政策を積極的に市長に
提案していきます。

こうべ未来
市会議員団
HP



伊藤めぐみ*今年度の所属委員会

- ◎教育子ども委員会(教育委員会・子ども家庭局) 市立学校園、放課後の学童保育、こどもの健康と発達、児童虐待を防ぐためなど取り組んでいます!
- ◎外郭団体に関する特別委員会(理事) ○神戸市会広報委員会

経済観光局関連の外郭団体(神戸農政公社・神戸いきいき勤労財団・神戸市産業振興財団・神戸観光局・有馬温泉企業等)について質疑しました。令和5年7月7日

北区の農業振興や六甲山牧場、神戸ワインなど神戸の観光施策を2030年頃までの視点で考えていくことが必要です。



まちづくりと人づくり。どちらも神戸の未来のために重要な施策を、今年度取り組んでまいります。

7/7 外郭団体に関する特別委員会



郵便はがき



いとう 神戸市会議員 北区

伊藤めぐみ

神戸市政のこと、お困りのこと
いつでもどんなことでもご相談ください!



〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字かんじゃ11-3
Mobile / 080-6111-9969 ✉ happy@itomegu.com

こうべ未来
市会議員団
ホームページは
こちらから





▶ 令和5年9月 決算特別委員会 ▶ 駅前にて市政報告を配布



発行元

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 1号館 27階
TEL : 078-322-5845 FAX : 078-322-6171

Vol.33

■ 令和4年度各会計決算について

令和4年度各会計決算及び関連議案合計24件を、要望11件を付して認定、承認しました。
(要望事項の一例)

- ・子どもの意見を施策へ反映できるよう具体策を講じられたい。
- ・「まちなかアート事業」については、まちの賑わいに大きく寄与することから、工夫をこらしながら継続されたい。
- ・本市初のインクルーシブ公園を開設されたい。
- ・小学生の不登校の現状について精査し、校内サポートルームの拡充と人的配置をされたい。



■ 60年ぶりにリニューアル「神戸ポートタワー」いよいよお披露目へ！

鼓形の双曲線構造が独特である「神戸ポートタワー」は1963年に開業しました。

現在、大規模リニューアル工事が行われており、開業60周年の節目となる2024年春に営業再開見込みです。私、いさやま大介も港湾局において、ウォーターフロントエリアの質疑を重ねてきました。

- リニューアル中のプロジェクションマッピングの提案（右写真）
- リニューアル後の夜間景観
- 中突堤中央ビル南館の再整備



- ★ 定期的に市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp

■ 議会がないときでも、チームで活動しています！！

○児童自立支援施設『神戸市立若葉学園』を視察しました。

若葉学園は、平成10年に児童福祉法改正に基づき「児童自立支援施設」として新しくスタートした施設です。家庭・学校・地域社会の中でうまく適応できず、生活指導を必要とする児童の保護と心身の健康な成長を目指すことを目的としています。



▶ こうべ未来市会議員団で訪問

恵まれた自然環境の中で、生活の場所（寮）と学校（分教室）を併せ持ち、児童が日々充実した学園生活を送れるよう、日課や行事を工夫しているとのことでした。園内視察では、施設全体がかなり老朽化しており、特にトイレや浴場のリニューアルが必要であるとともに、講堂への空調設備の必要性も感じました。児童たちがこの場所で学びを通して自立し、立派な社会人になることを期待します。

○『自立援助ホーム子供の家』を視察しました。

運営は「社会福祉法人 神戸真生塾」が行っています。義務教育終了後、何らかの理由で家庭で生活できなくなった児童や、児童養護施設を退所し働かざるを得なくなった、原則として15歳から20歳までの青少年が、社会で生きていくための準備をするための施設です。



▶ 担当者から説明を受ける様子

自立援助ホームでは、仲間と共同生活（個室での生活）のもと、基本的には仕事に通いながら、職員の援助を受けつつ自立に向けての生活を送り、退去後も職員が仕事や生活の相談にのるなど、継続した支援を行っており、現在男子6名、女子10名の16人が生活をしています。ホームに入居している青少年が一日も早く自立できるよう、私たち議員団としても更なる環境整備に向けて取り組んでいきたいと思っております。

市政を身近に 令和5年度第3回定例議会、決算特別委員会にて質疑しました！

商店街・小売市場の活性化を！

地域・経済

- ☑ コロナ禍において、従来の「地域商業活性化事業」などに加え、電子商品券事業など、消費喚起施策にも取り組んできた。
- ☑ 物価高騰の影響で苦しんでいる今後の商店街・小売市場に対する支援については、どのような方向性で考えているのか。
- ☑ 「商店街・市場応援隊派遣事業」については、どのような考え方で選定・登録されているのか。若い人材による視点が必要ではないか。

質疑のポイント

神戸市プレミアム付き電子商品券など様々な消費喚起策を切れ目なく実施してきた。今年度は、商店街等が自ら実施する事業の取り組みを支援し、活性化を後押ししている。商店街等は、日常生活における買い物の場にとどまらず、地域コミュニティの中心として重要な役割を果たしていると認識している。一方、組合員の高齢化・担い手の不足、空き店舗など様々な課題がある。それぞれの地域の特色とか個性を生かした取り組みが必要である。また、その活性化については、若い世代などの柔軟な発想を取り入れることも重要である。「商店街・市場応援隊派遣事業」については、委託先である神戸市商店街連合会など協議をしているが、よりよい制度となるように改善を図りたい。

まちなかアートの開催支援、アーティストの支援！

地域・芸術

- ☑ コロナ禍において、プロのアーティストを起用したまちなかでの演奏会・パフォーマンス等のイベントに対して補助をしてきた。
- ☑ 「まちなかアート事業」のこれまでの成果と、今後の方向性は。

質疑のポイント

宮道局長：令和4年度末までの累計で455の事業、2200人のアーティストの活動機会に繋がった。コロナが5類に移行したので、緊急支援的な対応から自律的な活動を支援へと重点的にシフトしている。現在の新たな取り組みは、まちなかパフォーマンスの支援で、公募したパフォーマーとともに、三宮プラッツなどで投げ銭やCDの販売も含め実証実験を行っている。今後は知見を活かしながら、三宮エリア以外の地下鉄沿線や灘区の水道筋でもアーティストの活躍の場を多く確保し、街中の賑わい作りにも寄与したい。



▶ 三宮プラッツでのイベント

様々な話題と課題を取り上げています！

文化・環境・港湾・観光

『神戸歴史遺産』：神戸市では、指定文化財に加え、令和3年度より、未指定の文化財で要件に合致するものを神戸歴史遺産として認定する制度を開始し、建築物だけでなく、古文書や無形文化財など、多様な文化財が認定されてきています。また、神戸歴史遺産の保存や継承等に対し、ふるさと納税等を財源とする助成を行ってきています。



神戸歴史遺産のこれまでの実績や成果について質疑し、また、博物館の一面にて、学芸員と市民による参加型活動も提案しました。▶ 六甲ケーブル六甲山上駅

温室効果ガスの排出をゼロにすることを目指す港湾『カーボンニュートラルポート』を形成する取り組みの一つ。

大気中の二酸化炭素が神戸空港島周辺の緩傾斜石積護岸においてシダモク等の藻場といった海の生態系に吸収される、

ブルーカーボンの取組みについて、質疑しました。

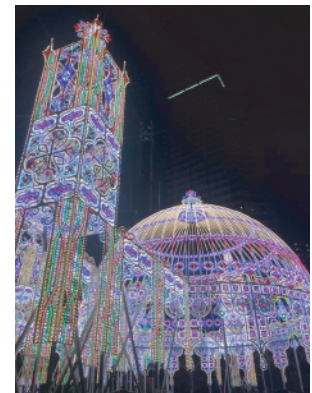


『クルーズ客船の受け入れ』：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外国籍船の運航が休止されてきたが、今年3月、3年ぶりとなる国際クルーズの受け入れが再開しています。日本籍船・外国籍船の神戸への寄港はもとより、クルーズの発着港となれば地域経済への波及効果が大きいと考えています。発着港としての客船誘致に力を入れるべき、と質疑しました。



▶ MSC BELLISSIMA が入港

4年ぶりに開催される『神戸ルミナリエ』について、質疑しました。開催時期を「震災の慰霊と鎮魂、復興・再生への夢と希望」というテーマにふさわしい1月下旬へと変更し1.17以降に開催。東遊園地の他に新たにメリケンパークにも作品を展開することで、来場者の過度の集中による負担を軽減して回遊性を確保。(旧居留地会場には光の回廊「ガレリア」は設置しない)近隣の飲食店等と連携し、誘客につながる取り組みを要望しました。



▶ 第25回目のルミナリエ